

## Windows 11 初期設定ガイド

### 1. 初期設定ウィザード（初回起動時）

- Microsoft アカウントでのサインイン（推奨）→OneDrive や Microsoft Store などがすぐに使えます。※ローカルアカウントでも可能ですが、機能制限があります。
- 言語・地域・キーボード設定
- Wi-Fi 接続設定

### 2. Windows Update の実行

- 設定 → Windows Update → 更新プログラムの確認
- 初回は大量の更新が入るので、何度か再起動を繰り返します。

### 3. セキュリティとアカウント

- ウイルス対策 → Windows 11 には「Microsoft Defender」が標準搭載されています。特別な理由がなければ有効化したままで OK です。
- PIN の設定 (Windows Hello) → サインインを安全・便利にするために推奨。
- BitLocker ドライブ暗号化 (Pro 以上で利用可) → 持ち出し PC なら有効化がおすすめ。

### 4. ドライバとメーカー独自ツール

- メーカーアプリで最新ドライバの確認 → Dell Update / HP Support Assistant / Lenovo Vantage など。

### 5. バックアップと復元の準備

- 回復ドライブの作成 (USB メモリ)
- OneDrive 同期設定 (文書やデスクトップを自動バックアップ可)

## 回復ドライブの作成手順 (Windows 11)

### • 事前準備

- USB メモリ (16GB 以上推奨) を用意してください。  
※作成途中で USB のデータはすべて消えるので、空のものを使いましょう。

---

### • 手順

#### • ①回復ドライブツールを起動

1. スタートボタン (左下の Windows マーク) をクリック
2. 検索窓に「回復ドライブ」と入力
3. 「回復ドライブ (アプリ)」を選択

---

- ② ユーザー確認
  - 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と出たら  
→ はい をクリック
- ---

  - ③ オプション選択
    - 「システムファイルを回復ドライブにバックアップします」にチェックを入れる (推奨)  
→ 次へ
- ---

  - ④ USB メモリの選択
    1. 挿した USB メモリが表示されるので、選択
    2. 「次へ」 → 「作成」をクリック
- ---

  - ⑤ 作成開始
    - コピーが始まります (30 分～1 時間ほどかかることもあります)
    - 終了したら「完了」をクリック
- ---

  - 作成後の注意
    - USB メモリのラベルに「回復ドライブ」と分かるように書いて保管
    - PC に不具合が出たときに、この USB から起動して修復ができます (BIOS/UEFI で「USB 起動」に切り替える必要があります)

## 6. 利便性向上の設定

- スタートメニューとタスクバーのカスタマイズ
- 不要なアプリのアンインストール (例: ゲームや試用版ソフト)
- 既定ブラウザの設定 (Edge → Chrome/Firefox などに変更可)
- 日本語入力 (IME) の設定 (キー割り当てや変換方式を自分好みに)

## 7. 必要ソフトのインストール

- Office (Microsoft 365) または代替ソフト (LibreOffice 等)
- PDF 閲覧ソフト (Adobe Acrobat Reader など)
- ブラウザ、会計ソフト、業務ツールなど

## まとめ

最初に必ずやってほしいのは Windows Update とセキュリティ設定です。その後は仕事用・個人用に合わせてアプリや環境を整えるとスムーズです。